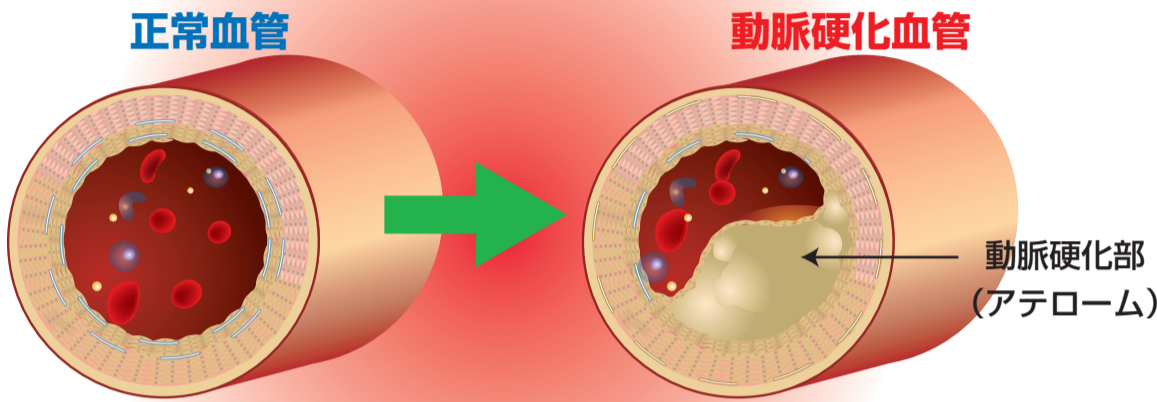


歩いた時にふくらはぎが痛くなりませんか？

下肢の血行障害(閉塞性動脈硬化症: PAD) は全身血管の動脈硬化による病気のひとつです

● 閉塞性動脈硬化症 (PAD) ってどんな病気？

PADは、頭の血管が閉塞する脳梗塞と同様に、足の血管がつまる、足梗塞ともいえる動脈硬化による病気です。



50m歩くと、右太ももからふくらはぎが痛くなる患者さんの血管の検査の写真です。

写真提供: 北関東循環器病院 熊倉久夫

● こんな方は注意！

- ① 足が冷たい、しびれる (無症状の場合も多い)
- ② 少し歩くと足が痛くなり、休むとまた歩けるようになる
- ③ 安静していても足が痛く、皮膚の血色が悪い
- ④ 足の傷の治りが悪く、潰瘍や黒色の皮膚変化がある

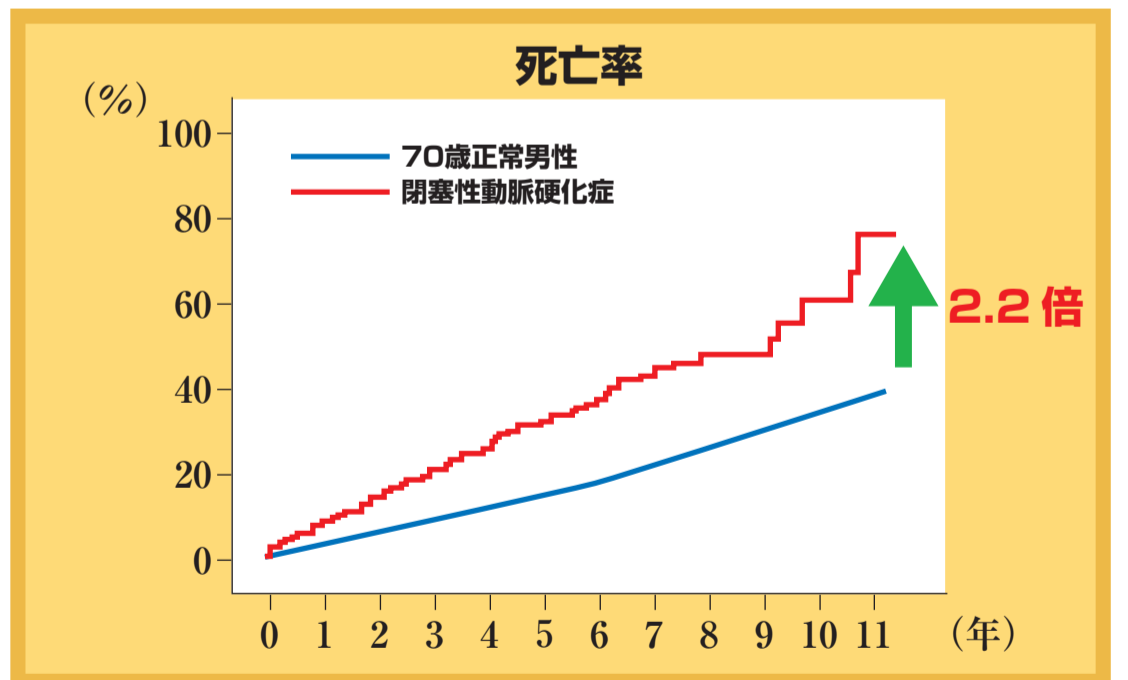


● 足の血管の検査は簡単にできます

● PADは生命を左右する怖い病気です



手足の血圧を同時に測定するだけで、ABI(足の血管の狭窄度)やPWV(全身血管の動脈硬化の程度)が測定できます。(約15分)



熊倉久夫 他: 脈管学, 42, 889-895, 2002(改編)

PADのある方は、下肢切断の可能性が高いだけでなく、健常者より死亡率が2.2倍高値です。(PAD: Peripheral Arterial Disease)

早期発見が大事です。心当たりのある方は医師にご相談ください。

監修: 北関東循環器病院 熊倉久夫



大塚製薬株式会社